

■2016 久慈地区平和集会

07月27日、連合岩手県北地域協議会、平和環境久慈地区センター、久慈地区友愛会の構成により、小雨の降る中、巽山公園にて50名の参加により「2016久慈地区平和集会」を開催した。

来賓には、社民党久慈総支部代表の久慈信様、久慈市議会議員の豊巻直子様、前衆議院議員の畑浩治様の出席を頂き、それぞれご挨拶を頂戴した。



集会風景



高田実行委員長



久慈信様



豊巻直子様



畑浩治様

高田実行委員長は、世界の終末時計の移り変わりを示したグラフを掲げ、「時計の針は進んで終末まであと3分だ。これは第二次世界大戦直後の冷戦時代にあと2分ともっとも終末に近づいた頃につぐ時間だ。なぜ時計は進んだのか、その答えは本集会の掲げたスローガンから読み解くことができる。時計の針が進む理由がこれでもかと押し寄せた今だからこそ、スローガンを胸にみんなで平和への歩みを進めなければならないのだ。平和を求める人はすぐそばにいるし、世界中にもいる。今日の集会が核兵器の無い世界をつくること、そのためにまずは職場・地域から平和をつくる運動を進めるよう決意する場となることを願う」と挨拶とした。



司会



開会



街宣報告



単組報告



単組報告



集会アピール



閉会

会場には、高校生平和大使をはじめ10名の高校生が「高校生一万人署名活動」を行った。彼ら彼女らは、① 核兵器廃絶と平和な世界の実現を願う長崎・広島・日本国民のメッセージを、国連訪問などを通じて世界に発信する。② 「高校生一万人署名活動」に参加し、集めた署名を国連に届ける。③ さまざまな平和活動や平和学習に積極的に取り組み、その成果を国内外に広める。④ 東日本大震災被災地の現状を世界に伝え国際連帯の大切さを訴える。若い世代が、自発的に活動を行っていることを頼もしく感じるとともに、継続の必要性を改めて認識した。



署名活動風景



活動の趣旨を伝える高校生



署名活動風景

参加者は、今後もこの平和に対する周知行動を継続していくことを確認した。